

NEWS TOPICS

地藏盆の行灯を作って飾ろう！

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、例年のような行灯作成ワークショップを開催することはできませんが、各自描いていただいた絵をお預かりして、行灯を制作し、いつもと同じ会場に展示する予定です。

なお、日時と会場は下記のIMFORMATIONをご確認ください。

行灯の絵を描きたい人募集！

大行灯 大きな絵を描きたい個人やグループを募集しています。絵は5枚分必要ですので、5団体または個人の方で、描いてみようという方は、お申し出下さい。紙や絵の具は、こちらで用意します。

小行灯 マイ行灯（小さな行灯）の絵を自分で好きなように描きたい人を募集。行灯の紙はこちらで用意しますので絵を描いてお持ち下さい。（絵の具もご相談に応じます。）

◎どちらも先着順です。8月8日までにお申し込み下さい。完成した絵は、8月15日までにご持参いただけます。



今年の行灯イベントポスターイメージ

行灯の木枠のリサイクルします！

昨年・一昨年に使用された行灯の木枠をリサイクルします。今年、絵を描く、描かないに関わらず、木枠をお持ちで御不用の方は堺町家案内所までお持ちいただくか、下記問い合わせ先まで、ご連絡下さい。よろしくお祈りします。

INFORMATION

▶地蔵盆の行灯の展示

今年も、昨年と同じ下記の会場で行う予定です。新型コロナウイルス感染防止のため、時間は例年より短くなりますが、散歩がてら、是非お出かけ下さい。

8月23日(日) | 時間：17:00～21:00 } 第1会場：六万地蔵から櫻館(桜之町西3丁の六間筋)
8月24日(月) | 時間：9:00～12:00 } 第2会場：来迎寺門前の駐車場(綾之町西2丁)

▶月いちバザーのお知らせ

8月はお休みです！時間は今回も夏時間です。

9月26日(土)/27日(日) | 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
時間：9:30～14:00

新しいものも、たくさんあります。是非、お越し下さい！

※予定は変更になることがあります。

▶協議会へのお問い合わせはこちら
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
TEL 072-228-0953 [志賀]
MAIL info@sakaimachinami.jp

▶「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
TEL 072-228-7432
FAX 072-228-8468 担当：福島、加賀山、田中

今号の表紙

今号の表紙は、「文久改正堺大絵図」の北部地域に焦点を当てたものです。この絵図の制作された文久3年は1863年で、江戸時代の終りにあたりますが、三方の環濠や直角に交った碁盤目状の街路、短冊形の街区等、江戸時代初期になされた元和の町割りを伝えていきます。地図の方向としては、大小路通を境に、町名表記が反転しているため、北部の表記が見やすいように、北が下になっています。大小路は現在、大小路「筋」と表記されていますが、この地図では「通」と明記されています。ちなみに、「市政100周年記念誌 フェニックス堺」所収の「明治二十四年(1891)の堺」の地図でも「大小路通り」と表記されています。

堺

環濠都市 NEWS

[ニュース]

北部

歴史的まちなみを
未来に活かすため

六間筋(ろっけんすじ)に注目！

vol.25



前号NEWS発行から
現在までの進捗情報

第9回(令和2年度)定期総会を開催しました!

| 2020.6.14 堺市立青少年センター プレイルームにて 午後1時30分～



今年は、年頭から始まった世界的な新型コロナウイルスの感染症対応に翻弄されました。政府の緊急事態宣言が出され、集会等の自粛が要請されたため、今年度(令和2年度)の定期総会も、6月半ばになってようやく開催に漕ぎ着けました。会場での検温や、マスク着用、1m間隔の座席設定、終了後の消毒など、初めてのことばかりで戸惑いました。総会では、「令和元年度活動報告及び収支決算書について」、「役員を選任及び会計監査の承認について」、「令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について」の各議案が承認されました。また、堺市都市景観室から「まちなみ修景補助制度について」と「堺環濠都市北部地区の景観形成に向けた意向把握調査の結果報告について」の説明がありました。

そして、休憩の後、京都工芸繊維大学の清水教授のご講演があり、地元の参加者の皆さんの間に、新たな希望と大きな期待が広がりました。内容については次のページをご覧ください。

TOPIC 1 協議会役員・会計監査・顧問・相談役

- 役員
 - 会長 志賀和子
 - 副会長 小野晃蔵 柏木 作
 - 事務局長 岸 治子
 - 事務局長補佐 辻 大樹
 - 会計 水野照子
- 会計監査 濱野紀弘 平田芳厚
- 顧問 大久保孝一 [錦校区自治連合協議会会長]
宮里秀俊 [錦西校区自治連合協議会会長]
- 相談役 甲野 純

TOPIC 2 令和2年度事業計画

- ①協議会ニュースの発行 ②協議会ホームページの維持管理 等
- ③町家・町なみの調査 等 ④町なみ再生に向けた勉強会 等
- ⑤イベント等による周知啓発 ⑥役員会等の会議開催

TOPIC 3 令和元年度収支決算

収入 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金	500,000	堺市補助金
雑収入			3,240	繰越金
			189	利息、寄付
合計	500,000		503,429	

支出 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算額	摘要
調査研究活動費	470,000		493,952	
広報費	200,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等	127,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	70,000	勉強会開催費、資料コピー等	116,520	講師謝礼金 講座開催費等
周知啓発費	200,000	イベント開催費、チラシ作成等	250,432	ワークショップ 材料費等
運営事務費	30,000		9,477	
会議開催費	20,000	会場借上げ、資料コピー等	7,737	総会資料印刷等
事務用品購入	5,000		1,010	事務用品購入
通信・運搬費	5,000	切手代等	730	切手代等
次年度への繰越し			0	
合計	500,000		503,429	

TOPIC 4 令和2年度予算(案)

収入 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金
繰越金	0	
合計	500,000	

支出 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
調査研究活動費	470,000	
広報費	130,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	170,000	勉強会開催費、資料コピー等
周知啓発費	170,000	イベント開催費、チラシ作成等
運営事務費	30,000	
会議開催費	20,000	総会会場借上げ、資料コピー等
事務用品購入	5,000	
通信・運搬費	5,000	切手代等
合計	500,000	

PICK UP 今年度、本地区で京都工芸繊維大学の調査が実施されます!

それに先立って、清水先生に、どのような調査をされるのか、概要を総会でお話していただきました。

講演:堺環濠都市北部地区文化的景観リサーチプロジェクト
- 都市構造、都市史、伝統産業、生活習慣から堺を読む -
[講師:京都工芸繊維大学教授 清水 重敦氏]

[講演内容]



前回2月22日の清水先生の講演の締めくくり、「環濠都市堺を『文化的景観』としてみる」において、注目された堺の六間筋。私たち住民が、先生の指摘を受けて、初めて堺の町の構造や特性に気付かされ、大きな興味を覚えました。今回の講演は、そこから、さらに踏み込んで、今後の堺環濠都市北部地区のまちづくりに向けて、新たな提言をしていただけたと思います。

講演では、

1. 堺環濠都市における町なみ再生の未来像とは?
2. 堺環濠都市のまちづくりへのステップ
3. 文化的景観リサーチプロジェクト(案)

の3段階に分けて説明されました。

1と2では、「六間筋」をはじめとする堺環濠都市の歴史都市としての個性=価値を、町の持続可能性や、これからのまちづくりに役立てることはできるのか、そのための調査とは何か?ということで、「文化的景観」による価値を前提としたまちづくりを提唱されました。

そして、3の文化的景観リサーチプロジェクト(案)では、・調査のねらい・調査対象地域・調査体制・活動予算・調査内容・調査スケジュール(・7月都市構造分析・8月第1回現地調査・9月第2回現地調査・10~12月第3回現地調査・1月調査成果報告会及び現地ワークショップ・3月調査成果取りまとめ)等が具体的に示されました。

[参加者の声]

以下に、本協議会役員1名の感想と、当日参加された皆さんの感想の一部をご紹介します。

まずは清水先生が、わたしたちの住む堺環濠都市北部地区のことに興味を持っていただけたことが、そして、熱意をもって、大学のプロジェクトとして取り組んでいただけたことになったことが、何よりうれしいことでした。町なみ再生協議会が始まって、いくつかの町家が修景され、井上関右衛門家が鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムと決まっても、そこだけのことで、この地域としての未来像が見えず、この地域を愛する住民みんなが自分たちの無力さに意気消沈しそうになっていました。そこへ、清水先生の堺環濠都市北部地区文化的景観リサーチプロジェクトのお話で、講演の後、みんなが元気を取り戻しました。

「未来に希望が持てた。」
「今まで役所に将来のビジョンを示して欲しいと何度言っても甲斐がなかったが、清水先生のお話で、初めて将来像を描くことができた。」
「清水先生に協力を惜しまない。」「将来が楽しみになってきた。」
「今回とても具体的に展望が見えて来たかなと思う」
などと、参加者の皆さんが異口同音に喜びと協力を語っていましたが、この様子を見て、「大学がしようとする事と、住民がして欲しいと思っていることが一致して、みんな喜んでいた」と客観的に表現した方がいましたが、まさしくそのとおりです。

以上のような住民の期待のもと、新型コロナウイルス感染状況にもより、今後の進捗はなかなか厳しい所もあるかと思いますが、協議会としても最大限、清水先生に協力して進めて行けたらと思います。また、堺市の関連部局も、住民の期待に応じて、この貴重な機会を是非生かしていただきたいと切に願うばかりです。